

少年非行の未然防止を

～『子どもの健全育成サポートシステム』調印式～

8月26日(金)、市民会館で、市教育委員会と室蘭警察署の連携に関する協定『子どもの健全育成サポートシステム』の調印式が行われました。

この協定は、小・中学校と警察が児童・生徒の問題行動に関する情報を共有し、児童・生徒の非行や犯罪被害の未然防止を目的に結ばれたものです。調印式には、市教育委員会や小・中学校、警察から約20人が出席。武田教育長と木村室蘭警察署長が協定書に調印しました。

協定は9月1日から実施され、警察から小・中学校には、児童・生徒の検挙・補導に関する情報のうち、複数での非行や、他校、有・無職少年などとのトラブル、深夜はいかいを繰り返している場合などの情報が連絡の対象となっています。

また、小・中学校から警察には、児童・生徒の非行や犯罪被害の未然防止、安全確保などのため、警察との連携が必要な情報が連絡の対象となっています。

なお、共有する情報は、個人情報に当たるため、秘密の保持を徹底し、連絡の範囲も必要最小限としています。



握手を交わす武田教育長(右)と木村署長

新鮮な海の幸が大人気

～第28回登別漁港まつり～

9月10日(土)・11日(日)の2日間、登別漁港で『第28回登別漁港まつり』(同実行委員会主催)が開かれました。

この催しは、海の安全と豊漁の感謝を地域住民とともに分かち合おうと、毎年この時期に行われており、会場は、新鮮な海の幸を求める大勢の市民でにぎわいました。

岸壁に大漁旗を飾った漁船が連なる華やかな雰囲気の中、地元産のタラコやホッキ、秋サケ、エビなどを格安で販売する海産物即売コーナーやJAくりやま農産物即売会のほか、薄型テレビが当たるビンゴゲーム大会、特設ステージでの和太鼓演奏、よさこいソーランの演舞なども行われ、まつりを盛り上げました。

朝揚げサケ抽選即売では、整理券配布から長い行列ができ、抽選で当たった方は、期待を込めてサケの付いたひもを引き、サケにブリやヒラメが付いていると、大きな歓声を上げていました。

また、今回は北海道開発局の監督測量船『みさご』の体験乗船が行われ、多くの小学生が乗船。海から登別を眺めていました。



車いすの大変さを実感

～ふれあいフェスティバル2005のぼりべつ～

9月11日(日)、しんた21で『ふれあいフェスティバル2005のぼりべつ』(登別市社会福祉協議会主催)が開かれました。

この催しは、障害のある方もない方も、誰もが地域で安心して暮らせる心豊かな福祉社会の実現を目指すことを目的に、毎年この時期に行われています。

企画と運営には、市内のボランティア団体や老人クラブなど33団体が参加。点字や点訳、手話、朗読、バリアフリー、ガイドヘルプなどの各コーナーが設けられたボランティア体験コーナーでは、参加者が車いすに乗り、小さな段差を乗り越えようと悪戦苦闘。参加者は、バリアフリーの大切さを実感していました。

このほか、フリーマーケットや福祉施設で作っているパンなどの販売、地域福祉実践計画中間報告、障害者デイサービスの発表・作品展示なども行われ、参加者の交流の輪が広がっていました。

